

## 地球発見隊出前講座



### ●多文化共生理解出前講座（外国人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、県内在住の外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の歴史や文化を学び交流を深め、多文化共生に関することや、国際交流や協力への関心を高めることができました。今年は、外国人を職員として受け入れている工場からも依頼があり、受け入れ環境整備のための日本人職員向け社内研修にも派遣しました。

派遣件数	51件
派遣講師数	70名(延べ)
受講者数	4,472名

### 玄海みらい学園「文化の違いを感じてみよう！」

派遣講師国 **メキシコ** 受講者 **45名**

#### 実施目的

玄海町内在住の外国人数が少ないこともあり、玄海みらい学園の児童・生徒が普段の生活において異文化に触れる機会がありません。日本と異なる文化や考え方を持つ講師の方との交流を行い、各国の文化や日本との類似点・相違点に気づき、偏見や拒絶のない国際理解の導入のきっかけにしたい。

#### 講座の内容 (概要)

- 講師は国の伝統的な衣装で登場後、文化や言葉についての紹介をしていただきました。「メキシコと日本との違い」や「メキシコの食事やおまつり、ダンス」など、児童が関心のある内容についてパワーポイント資料を用いながらご紹介いただきました。

#### 受講者感想 (抜粋)

- メキシコの挨拶は「オラ！」という事を知りました。今度メキシコの人に会ったら言ってみたくです。
- 日本との文化の違いが分かりました。今度自分でも調べてみます！
- ピニャータ（お菓子を入れて割るメキシコのパーティー飾り）を今度のお楽しみ会で作ろうと思いました。



### ●多文化共生理解出前講座（SPIRA職員）

行政や民生委員、公民館館長など地域住民の方を対象に「県内外国人住民の現状」や「多文化共生について」、「やさしい日本語」など多文化共生の社会づくりを目指すために必要なことを、SPIRA職員が講師となりお話をさせていただきました。



派遣件数	17件
派遣講師数	17名(延べ)
受講者数	1,443名

### ●国際協力理解出前講座（日本人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、県内CSOの海外経験豊富な日本人の方を講師として派遣し、それぞれの国での活動体験や日本との違い等を学び、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	5件
派遣講師数	6名(延べ)
受講者数	416名

### ●グローバル・デイ

本年度より新規で県教育委員会事務局より委託を受け、県内の小・中学校、義務教育学校および特別支援学校へ地域在住の外国人講師を派遣し、交流活動を行いました。

子どもたちが外国の文化や考え方に直接触れる機会をつくることで、国際理解を深め、異文化への興味・関心を高めることを目的としています。あわせて、コミュニケーション力を育み、多文化共生社会の実現に向けて主体的に行動できる人材の育成を目指します。

派遣校数	25校
派遣講師数	74名(延べ)
受講者数	約1,800名

### ●多言語パートナーズによる文化とことば講座

多言語翻訳・通訳者として当協会に週1回勤務する“多言語パートナーズ”が講師となり、出身国の文化や簡単な言葉を紹介する講座を実施しました。

月に1回のペースで少人数で実施し、講師や参加者同士の交流につながりました。

ベトナム	10月、11月、12月：計3回	参加者 8名
ミャンマー	10月、11月、12月、1月：計4回	参加者 8名
ネパール	11月、12月：計2回	参加者 7名
フィリピン	11月、12月、1月、2月：計4回	参加者13名



### SPIRAさが国際フェスタ



今年で28回目を迎えた国際フェスタは、2025年度も地域展開を目的に嬉野市との共催で開催しました。初の試みとして、国際フェスタ開始前にプレイベントとして、バルーンに係留体験を実施し、180名を超える外国人住民・日本人の方に佐賀の文化を体感していただきました。

本会場は「うれしのまるく」で開催し、ステージプログラムのほか、多国籍料理、異文化体験、外国人相談、団体活動PRなどを実施。県内で国際交流・協力に取り組む50を超える団体が参加し、多くの外国人住民や留学生も来場しました。当日は過去最多となる4,000名以上の来場があり、地域住民と外国人住民が交流し、顔の見える関係づくりに寄与しました。

フェスタの最後には、SPIRAオリジナルソング「Free Your Heart of Borders」をスタッフと来場者が共に歌い、心の国境を越える感動的な雰囲気の中で締めくくられました。

また、10月1日から31日までを「さが国際フェスタ月間」とし、商工ビル1階通路にて県内CSO等の活動を紹介するパネル展示を実施しました。



多文化共生等助成事業



本県の国際化・多文化共生の推進に資する10（多文化共生事業7、国際交流・協力事業3）の民間団体に対象事業経費の一部を助成金として交付しました。

分野	実施主体	事業
多文化共生事業	日本語教室 いまり	<b>日本語教室いまり主催「多文化共生講演会」</b> 2025年8月27日実施。始めに日本語教室いまりの活動の説明をした。次に講師に高柳香代氏をお招きし、「ともに暮らすヒントを探る」というテーマでご講演いただく。それから、パネルディスカッションを実施。「となりの外国人、どうつきあう？」をテーマに、高柳氏、外国人雇用企業幹部、伊万里市長、日本語教室いまり代表がパネラーとして進めた。成果として、日本語教室の活動を知ってもらうことができた。また外国人雇用企業の実態を知ることができ、企業、行政との距離が縮まった。さらに地域住民の意識を多文化共生に向けたことができた。
	赤松まちづくり 協議会	<b>水鏡プロジェクト実行委員会「おほり灯ろうまつり」</b> 2025年10月18日開催。地域住民や小中学生と留学生とのふれあいを通して地域の共生を図る。具体的には灯ろうをみんなで並べ、それをお堀に浮かべて一斉に点灯する。おほり灯ろうまつりの創出の達成感を主催者や留学生、学生ボランティアのみなさんと共有できた。地域住民やボランティア活動をした学生、児童生徒との交流が図れ、留学生との一体感が芽生えた。過去最大の数に挑戦し、達成することができた。今後は、灯ろう数の増加、および範囲にも挑戦しようと考えている。
	スモールワールド	<b>ひろがれ！多文化共生事業</b> 星野ルネさんを招き「多文化共生」について考える集いや交流を行った。本事業により、事業当初の2つの目標を達成することができた。外国につながる児童、日本人児童、職員が皆で多文化共生について考えるきっかけとなった。外国につながる児童がロールモデルと出会い、将来の見通しをもつことができた。今後も学校の中で児童一人ひとりが「違いを楽しむ」ということを意識して多文化共生につながる取り組みを日常的に行いたい。
	おおまち こりすくらぶ	<b>地域日本語教室 にはんごこりすくらぶ 日本文化体験イベント「浴衣体験会」</b> 2025年8月13日大町町のふるさと大町納涼まつりにて、在住外国人を対象にした日本文化紹介イベント「浴衣体験会」を開催。浴衣を着て夏祭りを楽しみ、盆踊りを踊り、花火を鑑賞するなど日本の伝統を体験しながら、文化を学び、地域住民と交流を深める。祭りという元来オープンに楽しむ場で、互いを尊重しながら、心をつなぐ機会を作ることができた。
	特定非営利 活動法人 アクセ プト・インター ナショナル	<b>「県民の交流及び相互理解の機会創出を通じた多文化共生推進事業」</b> 多文化理解と交流機会の創出を目的に、2025年8月から2026年3月にかけて、日本人・外国人を問わず、ボランティアや学生等の多様な人々を巻き込み5回のイベントを実施。延べ187名の参加者が本事業で実施したイベントを通じて交流を実現することができた。
	NPO法人さが 子ども多文化 センター・わー るどりんぐ	<b>「外国にルーツを持つ子どもへの教育支援普及事業」</b> 団体の事業説明のパンフレットを作成し、県内の教育委員会や学校を通して、多くの教職員および市民に呼びかけた。わーるどりんぐの活動の意義について理解してもらうことを目的としてパンフレットを配布。職場や他の会議などでも配布してもらった。また、学習会チラシ200部印刷により、学校関係者を通じて当該児童生徒に配布できた。今年度から参加者も増えた。わーるどりんぐの活動について、佐賀市内だけでなくもっと広く周知していくことが課題である。もっと活動の必要性を周知していかなければならない。
国際交流・ 協力事業	在佐賀ベトナム 人協会	<b>「ベトナム中秋節 in 佐賀」</b> 外国人と日本人が共に集い、ベトナムの伝統行事である中秋節を通して交流を深めることを目的として開催。参加者はベトナム人が約4割、日本人やその他の外国人が6割を占め、特に子供連れの参加者が多く見られた。約400名が訪れた。ベトナムの中秋節を紹介する展示や体験コーナー、伝統音楽やダンスのパフォーマンス等を通じて多文化の魅力を楽しみながら学べる内容となった。今後もこのような取り組みを通じて、佐賀地域における国際交流と温かいコミュニティづくりを進めていきたい。
	特定非営利 活動法人 愛未来	<b>「フェアトレードフェスタin SAGA 2025」</b> フェアトレードに関するパネル展示や商品の販売、商品の生産国出身の留学生による商品や現地状況の紹介等を実施。300人の参加者が来場し、フェアトレードへの理解を深めてもらうことができた。パネルやパンフレットによる説明とともに、現地の人による説明は効果があった。
	陶祖之郷 プロジェクト	<b>「有田皿踊り&amp;公州サムルノリ2025」</b> 韓国農楽「サムルノリ」公演は、有田焼400年記念の年に始めた「高麗躍の再現」事業であり、令和5年から秋の陶磁器まつりに合わせて実施。有田焼と朝鮮陶工の関連を示す風物詩事業となっている。今回は有田焼の起点とされる有田磁石場でのサムルノリ演奏が実施できた。これからの10年は「相互交流」をテーマに展開していきたい。
一般社団法人 おもやい	<b>「多文化共生を学ぶ国際交流カフェ事業」</b> 昨年同様、ルワンダ在住のルダシングワ真美さん・ガテラさんご夫妻を武雄にお呼びし、ジェノサイドなどの歴史や支援活動のことをお話いただいた。質疑応答時間を設けて一方的に聞くだけでなく、興味を持ったことを質問して皆で共有することで異文化理解を深めた。今後も佐賀の方々に多文化理解につながるイベントを実施したい。	

## Sagan World Cup 2025 フットサル大会



2025年12月21日(日)に駅前不動産スタジアムにてJICA九州(JICAデスク佐賀)との共催でSagan World Cup 2025を開催しました。

当日は、日本を含む32カ国から24チーム約280名が参加されました。今回も昨年に引き続き Champions League とEnjoy League の2つのリーグに分けて開催し、サッカー経験がある方、ない方などたでも楽しめる形式を採用しました。結果的に Champions League 16チーム、Enjoy League 8チームの申込がありました。

Champions Leagueの優勝はベトナムコミュニティチーム「黄金竜戦士」、準優勝はインドネシア実習生、特定技能で働いているチームでした。表彰式ではトロフィーやメダル、賞金をお渡ししました。

スポーツ(フットサル)を通して、参加者である技能実習生、留学生、外国人住民同士や外国人住民と日本人住民の国際交流を行う場を提供することができました。また、当日会場でフォトコンテストを行い、会場に来られた全員を対象に応募いただき、その写真の中から優勝写真を選びました。日本人と外国人の交流を象徴するような、この大会の趣旨に合った素敵な写真が選ばれました。



フォトコンテスト優勝写真

## 多文化共生情報発信事業



### ●ラジオ放送(えびすFM)

多文化共生の地域づくりを促進するため、県内の外国人住民やボランティアをゲストに迎え、多文化共生に関するさまざまな情報をコミュニティFM(えびすFM)のラジオ番組により発信しました。

放送日 毎月第3水曜日 19:00~20:00 放送回数 12回

参加者 外国人住民、ボランティア、SPIRA職員等



## 佐賀県国際交流プラザ運営事業



佐賀県の委託を受け、2021年4月1日より佐賀県国際交流プラザの運営管理を行っています。佐賀県国際交流プラザは誰でも利用できる「世界と佐賀をつなぐ」施設です。このプラザでは、国際交流・協力、日本語・外国語学習に関する書籍の貸出のほか、国際交流等外国人住民と日本人住民の交流を図る様々なイベントも開催しています。

また、同プラザには調理室や研修室等外部貸出可能な施設も完備しています。様々な国の人たちと交流をしてみたい、世界の情報を知りたい、国際交流イベントに参加してみたいと思われる方はぜひ遊びに来てください。



佐賀県国際交流プラザ 問い合わせ先 ☎0952-25-7004 平日 10:00~21:00 土日祝日 10:00~17:00



# さが多文化共生センター



佐賀県から委託を受け運営している外国人住民に関する一元的相談窓口「さが多文化共生センター」は、2025年10月に6周年を迎えました。県内外の様々な団体、個人の方々と連携のもと、相談員3名体制で相談対応を行いました。昨年と同様に、ウクライナ支援等に関する相談窓口として避難民の方々からの生活相談にも対応しました。



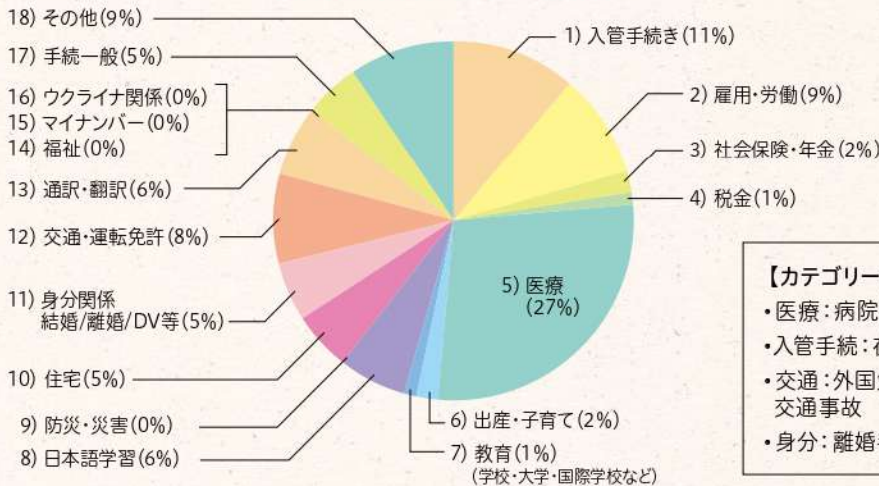
- 相談受付日時** 平日9:00～12:00、13:00～16:00
- 相談受付方法** 対面、電話、メール、SNS (LINE、Facebook)
- 相談受付言語** 日本語を含む24言語 (対面通訳、電話通訳の場合)  
※その他の言語には翻訳機を使って対応
- 窓口人員体制** 相談員3名 (社会福祉士、精神保健福祉士、日本語教師、外国人支援コーディネーター)  
通訳者3名 (英語、韓国語、ベトナム語)

## ●生活相談

相談内容に応じて情報提供を行うほか、必要に応じてアウトリーチ (他相談窓口への同行、相談者居住地域での専門家相談実施等) も行いました。

2025年度 相談の件数 延べ 1073件 (うち、アウトリーチ25件)

相談内容の 카테고리別内訳



### 【カテゴリー別相談内容の例】

- ・医療：病院探し、医療機関への通訳派遣依頼
- ・入管手続：在留資格の変更・更新申請、永住申請
- ・交通：外国免許から日本免許への切替手続き、交通事故
- ・身分：離婚手続き、帰化手続き

## ●専門家相談・他団体との連携

センターに寄せられる相談内容は、年々多様化・複雑化してきています。必要に応じて佐賀県弁護士会、佐賀県行政書士会、福岡出入国在留管理局佐賀出張所、その他県内外の民間団体、専門機関の方々にご協力いただき対応しました。

法律相談 (弁護士)	17件	離婚、調停、財産分与、交通事故、労働トラブル等
行政手続相談 (行政書士)	6件	家族の呼び寄せ、永住申請、アポステイユ、帰化等
入管手続相談会 (佐賀入管)	17件	在留資格変更・延長、永住申請、高度人材ポイント制等
その他連携先		社会保険労務士、DV総合対策支援センター、女性相談窓口、生活自立支援センター、児童相談所 等

## ●その他の活動

地域に対する啓発活動として、多文化共生や外国人相談、やさしい日本語に関する講演活動も行いました。(実施回数 8回、実施対象：佐賀県指定自動車学校協会、佐賀県生活自立支援センター、佐賀県DV総合対策センター等)

## 職員による研修講師・事例発表等登壇実績 (2025年度)

講演分野	依頼者
多文化共生	西九州大学、佐賀女子短期大学、北波多女性ネットワーク「未来」おぎ日本語教室、佐賀県立白石高等学校、佐賀大学教育学部附属中学校、佐賀県教育委員会、佐賀県みやき町教育委員会、佐賀市立神野公民館、多久市中央公民館、佐賀県長寿社会振興財団、日本赤十字社 佐賀県支部、佐賀県佐賀市、小城市、鹿島市、福岡県小郡市、長崎県新上五島町(一財)自治体国際化協会、特定非営利活動法人国際活動市民中心(CINGA) EXPO 2025 大阪・関西万博
防災	佐賀県、佐賀女子短期大学、佐賀女子短大 日本語別科、(一財)自治体国際化協会 東海北陸地区地域国際化協会連絡協議会、富山県、宮崎県、山口県下関市
やさしい日本語	小城市消防団女性部、佐賀県指定自動車学校協会、小郡市、大分県教育委員会
相談	佐賀県子ども家庭課、佐賀県生活自立支援センター、佐賀県DV総合対策センター(アバンセ)、佐賀県社会福祉士会、佐賀県社会福祉協議会
医療	佐賀県医療センター 好生館、佐賀県中部保健福祉事務所、佐賀県
子ども支援	JICAデスク佐賀
視察対応	愛知県国際交流協会、豊後大野市国際交流協会、熊本県菊陽町
その他(留学生オリエンテーション)	佐賀大学

## インターンシップの受入

インターンシップの受入れを行い、学生のキャリアビジョンのお手伝いをしています。各種研修会・イベントの準備や運営補助、翻訳作業、JICAデスク佐賀の国際協力推進員や佐賀県国際交流員との対談など、さまざまな業務をとらして、国際交流・協力や異文化理解、多文化共生についての理解を深めるとともに今後のキャリアについて考える機会にさせていただきました。

### 受入実績

学校	実施期間	参加人数
佐賀県教職員研修	2025年7月23日～2025年7月24日	1名
佐賀女子短期大学	2025年8月18日～2025年8月22日	2名
梅光学院大学	2025年11月28日～2026年1月30日	1名
CODO外語観光専門学校	2026年2月17日～2026年2月19日	2名



## 国旗の貸出

SPIRAでは、県内の各種催しでご利用いただける国旗を貸し出しています。国際交流・協力、多文化共生等の行事でぜひご活用ください。

- 対象** 協会の賛助会員である個人・団体及び、県内の教育機関、公共機関等
- 国旗所持数** 掲揚旗、卓上旗 全188か国
- 費用** 無料 **借用期間** 1回につき2週間以内 **2024年度貸出実績** 延べ17件



### 地球市民賞受賞記念交流会

2025年5月17日(土)、2024年度国際交流基金地球市民賞受賞を記念した交流会を佐賀市において開催しました。SPIRAと共に活動して下さっているボランティアおよび関係者約60人が参加して下さいました。2025年2月に実施された地球市民賞授賞式の様子を皆さんに報告し、改めて受賞の喜びを分かち合いました。

本交流会を通じて、協会のスローガンである「Free Your Heart of Borders! ~心の国境をなくそう~」という理念を改めて共有し、参加者一同、その思いを胸に刻む機会となりました。最後に、色とりどりの国旗を手に参加者がステージ上に集い、協会のテーマソングを合唱し、交流会は盛会のうちに終了しました。来てくださった皆さん、ありがとうございました。



### SPIRAの本を作りました!

「心の国境をなくそう!」をスローガンに、日々多文化共生の地域づくりを目指して頑張っている私達SPIRA職員や、理事長の「カリブの夢」に向かう姿を描いています。

SPIRA職員の日々の汗と涙と笑いの数々を、職員自らが執筆しています。

私たちの失敗や苦勞の経験が少しでも県内のみなさんや他県の多文化共生推進をしている方々のお役に立てばと、作成した本は全国の国際交流協会や県内の主要図書館等に寄贈させていただきました。SPIRA職員の取り組みをぜひ手に取って読んでみてください。



### 大阪・関西万博イベント登壇

2025年4月25日(金)、大阪・関西万博テーマウィークプログラム「未来への文化共創」の一つとして開催された「世界と日本を変える力~JICA海外協力隊と外国人材と共に地域を創る~」に黒岩理事長が登壇しました。このイベントは、万博会場だけではなくオンライン配信も行われたため、佐賀県国際交流プラザでも黒岩理事長が「地域の国際化の推進」について話す姿を見ることができました。



### 佐賀県教育委員会及び国際協力機構九州センター (JICA九州) との覚書締結にかかる調印式

2025年5月27日(火)、佐賀県教育委員会及び国際協力機構九州センター (JICA九州) との間で、佐賀県立盲学校教員のJICA海外協力隊の連携派遣に係る覚書を締結しました。この派遣により、セントルシアでの視覚障害者の自立支援を進めるとともに佐賀県内における国際協力や異文化理解の推進も期待されています。



## 賛助会員募集

### 趣旨

当協会では、県民総参加の「多文化共生の地域づくりの推進」のために、賛助会員制度を設けております。地域の国際化・国際交流、多文化共生の進展に向けて、広く賛助会員としての参画をお願いしました。

### 対象

当協会の趣旨に賛同し、協会の運営活動に協力していただける個人・団体・企業・機関等



### 賛助会員の区分と会費

今年度より、寄付のポータルサイトを導入し、クレジットカード、口座振替でのお支払いも可能となりました。また、月額会員も受け付けており、500円からお支払いができるようになりました。

個人会員（都度・継続）	年会費1口	3,000円
個人会員（月額）	月額 1口	500円～
団体会員（都度・継続）	年会費1口	10,000円

\*ご寄付も受け付けております。

賛助会費は当協会の事業予算と併せ、佐賀で暮らす外国人住民のサポートや多文化共生を進めるための事業に、大切にに使わせていただいています。

### 会員の特典

協会発行の国際交流・協力情報誌「HELLO SAGA」(年4回発行)  
民族衣装の無料貸出・国旗の貸出



### 賛助会員（個人35名、団体15団体）（2026年3月31日現在）（団体名については50音順・敬称略）

株式会社 アドワークス	佐賀ユネスコ協会
株式会社 音成印刷	株式会社 テクノ九州
有限会社 川代テント工業	中原胃腸科内科
キャリアバンク株式会社	特定非営利活動法人ヒーリングファミリー財団
社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会	株式会社 ビーボン
佐賀県商工会連合会	社会福祉法人 みずものがたり
佐賀女子短期大学	モードサプライ協同組合
株式会社 佐賀新聞社	

## 公益財団法人 佐賀県国際交流協会 2025年度 年報

発行 公益財団法人 佐賀県国際交流協会 発行日 2026年 5月14日  
〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12 佐賀商エビル1階 佐賀県国際交流プラザ内  
TEL : 0952-25-7921 FAX : 0952-26-2055 E-mail : info@spira.or.jp

